

東京都御岳ビジターセンター外3施設 事業計画書

申請年月日 令和4年 8月25日

団体名	株式会社 自然教育研究センター	
代表者氏名	代表取締役 税所 功一	
所在地	〒190-0022 東京都立川市錦町 2-1-22	
電話番号	042-528-6595	
メールアドレス		
担当者名	所属： 総務部	氏名：

※この書式のほかに事業計画書の概要版を添付すること（A4判2枚程度、様式任意）

目次

I. 事業方針

1. 管理運営に対する基本方針について

- (1) 管理運営に対する基本的考え方と重視する視点 . . . 1
- (2) 申請者のノウハウを活用した業務展開 . . . 3

II. 事業計画

1. 人員配置計画

- (1) 人員配置計画 《様式8-1》 . . . 5
- (2) 適切な管理運営を行うための人材の確保と職員の技術・能力向上への取組 . . . 7

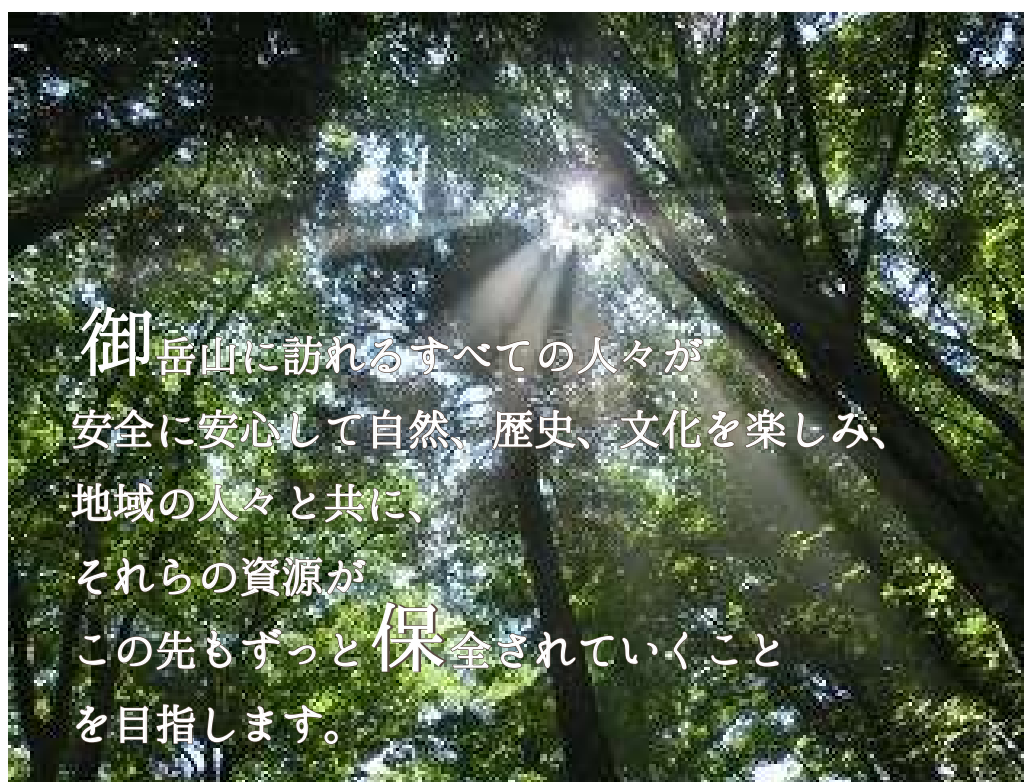
2. 運営計画

- (1) ビジターセンターの機能と事業展開 . . . 8
- (2) 利用者ニーズの把握への取組 . . . 9
- (3) 質の高いサービス提供への取組 . . . 10
- (4) 施設の広報に関する取り組み . . . 11
- (5) 地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組 . . . 12
- (6) 業務効率化への取組 . . . 13
- (7) 運営業務計画書（年間予定）《様式8-2》 . . . 14

3. 管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組 . . . 15
- (2) 事故及び自然災害等を未然に防ぐための安全対策及び発生時の対応 . . . 16
- (3) 稀少動植物保全への取組 . . . 17
- (4) 管理業務計画書 《様式8-3》 . . . 18

4. 自主事業 . . . 19



1- (1)

管理運営に対する基本的考え方と重視する視点

『東京都自然公園ビジョン』『施設指定管理者仕様書の管理運営方針（基本方針・実施方針）』を踏まえ、御岳ビジターセンターとしてのビジョン、エリアマネジメントを展開する計画を以下に整理しました。自然公園最前線に位置する「ビジターセンター 兼 生物多様性保全拠点施設」として生物多様性保全を柱としたビジターセンターとしての機能向上を目指すべく新たな業務展開を行います。

現状の課題と問題抽出

内容	現状の課題と問題抽出
(A) 国立公園を利用するすべての人々への適切な情報提供	【自然公園利用ルール、マナー等】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により国立公園だと知らない利用者が急増（直火、盗掘、キャンプなど） ・宿泊を伴う団体利用（林間学校）が減少 ・国立公園だと知らず、禁止条項を知らない人もいる ・利用形態の多様化（登山、ハイキング、観光など） 
	【安全登山】 <ul style="list-style-type: none"> ・登山初心者への情報提供 ・登山道が不鮮明になることで道迷いが発生する（積雪、落葉、日没、バリエーションルートの踏み跡） ・山であるという認識が低く、地図を読まない利用者が多く滑落や道迷いが多発 ・旬な植物などを求めて、コースを外れる利用者も多く、踏圧による植物への影響が懸念される ・山岳事故（消防団出動数）が減少しない 
	【ビジターセンター・御岳山の魅力発信】 <ul style="list-style-type: none"> ・御岳山の認知度が低い ・コロナ禍によりビジターセンターの存在を知らない利用者が多い ・コロナ禍で宿泊客減少 ・多様な方に向けたイベント、プログラムの提案 ・ロックガーデン以外のコースも案内が充実した提供物が少ない 
(B) 御岳山の野生動物による生態系への影響の把握と発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンジカ、ニホンカモシカ等の食圧による影響の調査継続 ・御岳地域周辺での生態系に変化が起きている ・植物情報の情報共有、蓄積の継続 ・情報発信の方法検討 
(C) 御岳山の資源に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・植物情報の共有、希少種の最新の情報把握と保護 ・資源情報などの発信方法検討、マナー ・歴史文化の記録について、地域住民の口伝で伝わっていることも少なくない 
(D) 地域関係者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への情報共有メールの展開 ・地域住民や御岳山観光協会のビジョンの共有、関係性のさらなる構築 ・ビジターセンターの活動業務を知らない人が多い為、地域住民により理解される必要がある 

内容	2023年	取り組み内容	2024年	取り組み内容	2025年	取り組み内容	2026年	取り組み内容	2027年	取り組み内容
(A) 国立公園を 利用する すべての人々への 適切な情報提供	情報収集	◆自然公園利用ルールの認知度を計る ・地域住民や関係者からの情報収集、意見交換 ・人流に対する山内の環境の変化や情報の蓄積	分析	◆蓄積したデータを分析、傾向把握 ◆発信内容と発信場所の検討	取組内容のブラッシュアップ	◆2024年度の取組結果を振り返り、改善 ・SNS、イベント、展示を効果的な発信	課題整理 自然公園 利用ルール 周知の強化	◆2025年度の取組結果を振り返り、改善実施する ◆利用者（より幅広い層）へ向けて、利用ルール周知、強化	定着度 分析	◆アンケート調査等の情報収集、分析
	情報発信	◆自然公園利用ルールの定期的な周知 ・園地の様子を利用者及び地域住民へ発信する	発信・周知	◆SNS、展示等で発信 ◆他企業と連携し、出張ビジターセンターの展開	発信・周知	◆2024年度の取組結果を振り返り、改善 ・生態系に与える影響について発信				
	利用者把握分析	◆VCの利用者の登山スキルを把握	情報発信	◆初心者向け安全登山の展示作成 ◆園地を活用した情報発信	取組内容のブラッシュアップ	◆2024年度の取組結果を振り返り、改善 ・御岳山での事故事例をまとめ、ホームページや展示等で発信	山内における 事故分析	◆御岳山内の事故の傾向を分析	機能の向上	◆ホームページや御岳山周辺での、安全登山の情報の周知
	スタッフのスキルアップ	◆スタッフの登山に関する内部研修	スタッフのスキルアップ	◆登山知識の向上と安全管理訓練	研修	◆イベント中における安全管理 ・登山イベント中の不測の事態を想定した研修 ・関係機関との連携による研修				
	調査	◆聞き込みアンケートの実施	分析	◆利用者のニーズの把握 ◆得られた魅力について分析	取組結果のブラッシュアップ	◆2024年度の取り組み結果を振り返り、改善	地域の魅力 発信	◆教育関係団体へ地域の魅力を発信、プログラムの展開	地域の魅力 発信、活用	◆地域資源を活用し、御岳山の魅力を発信
		情報発信	◆地域資源の魅力を発信 ◆出張ビジターセンターの展開	発信	◆外部への発信方法の検討					
(B) 御岳山の野生動物 による生態系への 影響の把握と発信	調査	◆生態系や自然状況についての調査	調査	◆調査方法の習得	情報発信	◆関係機関へ御岳山の現状等について相談、課題抽出	発信検討	◆調査機関へ御岳山の現状等について相談・検討	発信	◆取り組み結果のブラッシュアップ/発信 ◆2026年の取組結果を振り返り、改善実施
	発信	◆地域の人へ定期的な情報発信	発信	◆関係機関への適切な情報発信機能						
(C) 御岳山の資源に 関する情報提供	動植物情報の調査記録	◆調査の継続 (定期調査、カタクリ調査、レンゲショウマ調査) ・内部研修等の実施	稀少種調査 スタッフ間の共有	◆稀少動植物に関する現状把握	野鳥情報の整理	◆野鳥に関する情報を整理	発信	◆開花植物や野鳥情報の例年の情報発信の効率化	発信	◆2026年の取組結果を振り返り、改善実施
	歴史情報の整理	◆これまでに蓄積された情報資料の整理	歴史情報 収集 内容整理	◆情報整理と抽出	歴史情報 収集・調査	◆共通フォーマットによる整理、蓄積	発信情報 収集・調査	◆関係機関と連携し、地域資源の魅力発信	取組結果の ブラッシュ アップ/発信	◆2026年の取組結果を振り返り、改善実施 ◆外部への発信方法の検討
(D) 地域関係者との 連携	地域への情報発信	◆地域住民への情報共有の継続 ◆地域見どころガイドやみたけっ子クラブの継続 ◆山内イベント、祭事等への積極的に参加	情報発信	◆地域団体へビジターセンターの取り組みや活動の理解を深める	情報収集	◆地域のニーズの把握 ・行事等のできる事が無いか模索する	情報交換	◆地域団体と山岳事故や山内情報共有の効率化	情報交換	◆御岳山のさらなる活性化及び適正利用のため協議し、協働する
	ボランティア会 コミュニケーション強化	◆ボランティア研修会への参加	ビジョンの共有	◆ボランティアの活動への参加	コミュニケーション強化	◆ボランティアの活動、研修会への参加	協力体制の 強化	◆ボランティア会員の関係性構築向上	協力体制の 強化	◆ビジターセンターと合同活動計画

1- (2)

申請者のノウハウを活用した業務展開

弊社 30 年の実績を踏まえた業務展開

弊社では、平成2年設立以降、東京都自然公園をフィールドに数多くの業務を展開して来ました。さらに御岳ビジターセンターで長年培ってきた技術や知識だけでなく、地域住民への信頼関係を活かした環境教育業務の展開を行います。また、地域の資源を高める活動を行うと共に、地域の資源の保全、利用者へのアプローチを行い、生物多様性の保全に貢献できる施設となることを目指します。



地域密着型ビジターセンターを目指した地域連携

弊社は長年の環境教育業務の展開の中で、地域密着型ビジターセンターを目指し多様な地域関係機関と連携を図ってきました。これまでの関係構築により信頼関係をより密接に築き、さらなる利用者の拡充と質の高いサービスを効果的に提供します。



弊社は平成2年度から東京都の自然公園において継続的に業務展開し、令和4年度現在自然公園4施設（高尾ビジターセンター、奥多摩ビジターセンター、山のふるさと村ビジターセンター）における教育普及業務とともに多様な連携実績を保有します。



情報共有ネットワーク
利用状況/自然など



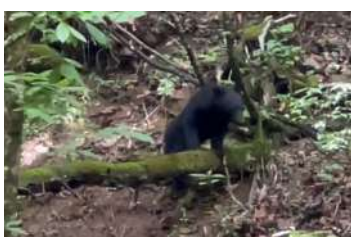
連携イベントの開催



SNSを活用した
広域的な連携

生物多様性保全への積極的な貢献及び さらなる安心安全なフィールドを目指す

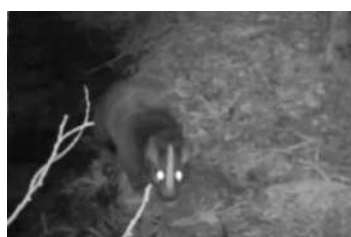
利用者及び地元住民が安心安全に利用、生活できるフィールドを目指して危険生物及び外来生物、フィールドへ影響のある動植物の調査を行います。また、自然公園利用者に対する展開に留まらず、生物多様性保全への積極的な貢献とともに、都民の意識向上に向けた情報発信等を行います。



ツキノワグマ



アライグマ



ハクビシン



カシナガクイムシ

1- (1)

人員配置計画

弊社は、これまでの実績を踏まえて、御岳山地域在住の雇用の他、御岳地域での業務経験豊富なスタッフの雇用を予定しています。

人員配置計画書 《様式 8-1》

	氏名 【御岳山地域 在住者】	役職 (令和4年度勤務地)	担当業務内容(具体的に)	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間 勤務時間	備考
					常勤	非常勤	委託	その他 具体的		
ビジターセンター 配置人員	解説員 【御岳山地域 在住者】	御岳ビジターセンター 所長 (御岳ビジターセンター)	・統括責任者 ・調整業務(都関係部署、関係機関、地域住民等) ・計画策定業務(事業、展示、施設維持管理等) ・コーディネート業務(協力支援団体等)など	【能力】 ・地域コーディネート、施設管理 ・防災指導、植生管理 【資格】 ・特別教育修了証(車両系建設機械) ・救命技能認定上級 【実務経験年数】 ・ビジターセンター等チーム経験8年以上 ・ビジターセンター等業務経験10年以上	○				40	
	解説員	御岳ビジターセンター 副所長 (御岳ビジターセンター)	・普及指導業務(利用案内、野外解説等) ・管理業務(事業、施設等) ・報告業務(事業、利用者動向等) ・評価業務(事業、利用者サービス、費用対効果) ・企画運営業務(イベント、プログラム等) ・コーディネート業務(協力支援団体等)など	【能力】 ・総合コーディネート 【資格】 ・中/高教職員免許一種 ・救命技能認定上級など 【業務経験年数】 ・ビジターセンター業務経験9年以上	○				40	
	解説員	御岳ビジターセンター 解説員 (御岳ビジターセンター)	・管理業務(施設、物品等) ・普及指導業務(利用案内、野外解説等) ・報告書作成業務(事業、利用状況等) ・普及指導業務(野外解説、館内解説、利用指導等) ・企画運営業務(イベント、プログラム等) ・情報発信業務(情報誌編集、ホームページ運営) ・調査業務(自然環境、モニタリング、効果測定) ・コーディネート業務補佐(地域団体等) ・施設点検維持管理 ・簡単な清掃・施設の点検修繕など	【能力】 ・プログラム企画・運営、昆虫を含む森林生態、 ホームページ管理、物販、安全管理担当 【資格】 ・救命技能認定上級、動物飼育技師 【業務経験年数】 ・ビジターセンター業務経験12年以上	○				40	
	解説員	御岳ビジターセンター 解説員 (御岳ビジターセンター)	・管理業務(施設、物品等) ・普及指導業務(利用案内、野外解説等) ・普及指導業務(野外解説、館内解説、利用指導等) ・情報発信業務(情報誌編集、ポスター作成) ・コーディネート業務補佐(地域団体等) ・施設点検維持管理など ・簡単な清掃・施設の点検修繕など	【能力】 ・情報セキュリティ担当、プログラム企画・運営 【資格】 ・救命技能認定上級、日本赤十字社救急法 ・NACS-J 自然観察指導員 【業務経験年数】 ・ビジターセンター業務経験12年以上		○			14	
	解説員	御岳ビジターセンター 解説員 (御岳ビジターセンター)	・管理業務(施設、物品等) ・普及指導業務(利用案内、野外解説等) ・普及指導業務(野外解説、館内解説、利用指導等) ・情報発信業務(情報誌編集、ホームページ運営)	【能力】 ・プログラム企画・運営など 【資格】 ・学芸員 ・社会教育主事など 【業務経験年数】 ・ビジターセンター業務経験3年以上		○			14	
	解説員	御岳ビジターセンター 解説員 (御岳ビジターセンター)	・コーディネート業務補佐(地域団体等) ・施設点検維持管理など ・簡単な清掃・施設の点検修繕など	【能力】 ・プログラム企画・運営 【資格】 ・YOGAセラピストJRY300トレーニング ・食品衛生責任者など 【業務経験年数】 ・ビジターセンター業務経験3年以上		○			14	
業務委託	御岳山観光協会	園地管理	御岳平園地、富士峰園地、円塚山園地				○			
	橋本ビルサービス	ビジターセンター清掃	定期清掃(年4回)				○			
	青和施設工業所	空調保守点検	定期点検、清掃(年2回)				○			
	青梅新興	汚水処理装置保守	定期点検、清掃(年5回)				○			
	東新商会	消防設備保守点検	定期点検、清掃(年1回)				○			
	多摩協立オートドア	自動ドア設備保守点検	定期点検、清掃(年3回)				○			

1. 人材配置計画

勤務ローテーション

人員配置計画に基づく、勤務ローテーションは次の通りです。

	当指定管理者における担当 【御岳山地域在住者】	雇用 形態	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	御岳VC 出勤	休 み
			月	火	水	木	金	土	日	月祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月祝	火	水	木	金	土	日	月	火		
所長・責任者 【御岳山地域在住者】		常勤	休	休	●	●	休	●	●	●	休	●	休	●	●	●	休	休	●	●	●	●	●	休	●	休	●	休	●	●	休	休	18	12
副所長・責任者補佐			休	●	●	休	●	●	休	休	休	●	休	●	●	休	●	●	休	●	●	休	●	休	●	●	●	●	休	●	休	●	18	12
解説員			休	●	●	休	●	●	休	休	休	●	休	●	●	休	●	●	休	●	●	休	●	休	●	●	●	●	休	●	休	●	18	12
解説員		非常勤	休	休	休	休	●	休	●	休	休	●	休	休	休	休	休	休	休	休	休	●	●	●	●	休	休	休	●	休	休	7		
解説員			休	休	●	休	休	休	●	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	●	休	休	●	休	休	休	●	休	休	7		
解説員			休	休	休	●	休	休	休	●	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	●	●	休	●	休	休	休	●	休	休	7		
備考			休館日		希少種調査		団体対応				休館日				日帰りプログラム		休館日		定期調査		生物多様性保全調査		日帰りプログラム		ミーティング		団体対応				休館日			
			0	2	4	2	3	3	3	2	0	2	2	2	4	3	0	3	2	4	2	4	3	3	6	2	3	2	4	3	0	2	75	
																														1ヶ月合計	75			
																														1日平均	3.0			

1- (2)

適切な管理運営を行うための 人材確保と職員の技術・能力向上への取組

様々な特質を持つ職員雇用の有効性

弊社では、御岳ビジターセンター指定管理業務において、御岳地域在住者及び御岳ビジターセンターにて長年の経験を積んだ職員、地域関連施設にて従事経験を有する職員を雇用することにより、安定的で適切な業務の遂行及び業務効率化を実現します。さらに、地域に精通した職員を配置することで地域の特性を生かした新たな視点での展開を図ります。



技術能力向上に向けた取り組み

日々の接遇はもちろん、利用者へ提供する様々なコンテンツの質を持続的に向上させ、いつでも安心・安全な運営を図るため、弊社では様々な社内及び職員内研修を実施いたします。これらにより、イベントにおける安全管理や情報セキュリティ等様々なリスクの回避に役立てるほか、質の高いサービスの提供へと繋げています。

安全管理研修

- ・現場に特化した傷病者 / 緊急時対応などに備えた研修。



インタープリテーション研修

- ・イベント及び団体プログラムの持続的な質の向上を図る。



情報セキュリティ研修

- ・情報セキュリティ担当者を配置し、名簿の管理方法や緊急時の対処法の研修を行う。



責任者育成研修

- ・責任者2名において、チームビルディングやマネジメント等のスキルアップを図る。



ビジターセンターの機能と事業展開

御岳ビジターセンターに位置づける機能と展開

弊社は、御岳ビジターセンターに3つの機能を位置づけて、指定管理業務の展開を図ります。

①東京都の自然公園エリアマネジメントの取組

- ・弊社管理の自然公園4施設の連携、相互支援、管理運営の質の向上、安定化を図る。
- ・Feel Nature in Tokyo プロジェクトでは、連携イベントや出張ビジターセンターなどの展開。
- ・包括的環境教育プログラムの展開により、新たな資源の提案や資源の価値を高めることを目標とする。
- ・活動連携による自然公園エリアの周知、回遊性の向上に取り組む。



自然公園4施設における
エリアマネジメント会議

②地域に根差した取組（地域関連機関とのパートナーシップ）

- ・御岳山観光協会と連携し、宿泊者向けのツアーの展開及び充実を図る。
- ・御岳山自治会との安心・安全機能の構築、パートナーシップによる地域住民との安心・安全ネットワークの向上を目指す。
- ・御岳登山鉄道との連携イベント、広報活動の展開。
- ・地域消防団との山岳事故の情報連携。



学生や社内研修における
人材育成

③生物多様性保全拠点施設としての展開

- ・生物多様性現状調査の実施。
- ・特定外来生物の現状調査、情報の蓄積。
- ・専門機関、専門調査委員との連携による調査の質の向上。
- ・地球規模生物多様性情報機構（GBIF）との連携による博物館機能の向上、蓄積。
- ・環境保全・生物多様性保全機能の充実（希少種保護、盗掘防止、植生保全、人材育成）。



センサーカメラによる
野生動物の調査

2- (2)

利用者ニーズの把握への取組

利用者ニーズ把握は、「コロナ禍でのイベントへの参加意欲向上」や「自然公園での体験の価値創出」などさらなる広がりを見せる利用者層へ向け、新たなアプローチの糸口として欠かせません。今後もさまざまな情勢の影響を受けながら変化していく利用者層に合わせた展開をするべく多面的にニーズの把握を行います。そしてPDCAサイクルに基づき、都度改善・ブラッシュアップを図ります。



顕在的なニーズの把握

- ・ アンケート調査の実施
(館内、イベント、スタッフ対応への満足度調査)
- ・ 窓口や電話で寄せられる要望
- ・ Google等のウェブ上に寄せられる要望

潜在的なニーズの把握

- ・ イベント/プログラムの形態、トピックの多様化
- ・ 利用団体への新たなアプローチ、利用形態の多様化
- ・ 地域住民ニーズの聞き取り (≒利用者ニーズ)
- ・ SNSの高評価投稿の傾向把握 など



多面的な
ニーズの
把握からの
実績例



要望多数のイベント
継続・形態の改良



コロナ禍における
配送サービスの開発



宿泊者向けガイドウォーク
の新規運営・計画

外部コミュニケーションへの対応

弊社が御岳ビジターセンター指定管理業務に向けて最も配慮し、さらなる強化を図ることは安心安全な登山に向けた取り組みです。近年登山が流行したことにより、ビギナーによる山岳事故が多発しています。これらを踏まえ、傷病者への対応はもちろん、事故発生時の緊急対応など利用者及び地域関係機関等から寄せられる様々な外部コミュニケーションに対して、地域と連携し適切な対応を行います。

		対応先一例					
		東京都	東京都 レンジャー	地元住民	地元消防団	エリア 関連施設	消防庁 地域駐在所
外部 コミュニケーションの 一例	迷子 尋ね人			●	●		●
	傷病 熱中症	●	●		●	●	●
	危険生物	●	●	●	●	●	
	倒木 登山道崩落	●	●	●	●	●	
	忘れ物						●

質の高いサービス提供への取組

利用者ニーズ把握で得た情報や時勢などを分析し、さまざまな目的を持った利用者が「今」求めるサービスを展開します。また自然公園の利用と保護のバランスを常に考慮し、自然公園の利用マナーの向上を図りながら利用者と共に質の高いフィールドを目指します。

日常プログラム

幅広い利用者の中へ、自然公園及びビジターセンターを周知する機会として展開している、日常プログラムの改良及び開発を行います。



団体プログラムの改良



セルフプログラムの開発

出張ビジターセンター

安心安全な自然公園の利用を促すためノンパーソナルを含む出張ビジターセンターを展開し、利用者と新たにつながる機会を創出して利用者の拡充を図ります。



人材育成

未来の担い手育成として、自然公園への関心を高める講師派遣及びボランティアの育成を実施します。また、地域密着型施設として地元住民へのアプローチも行います。



オリジナルグッズ

東京の自然公園の紹介・PRと環境教育を兼ねたオリジナルグッズの開発・販売に取り組みます。



東京のいきもの缶バッジ

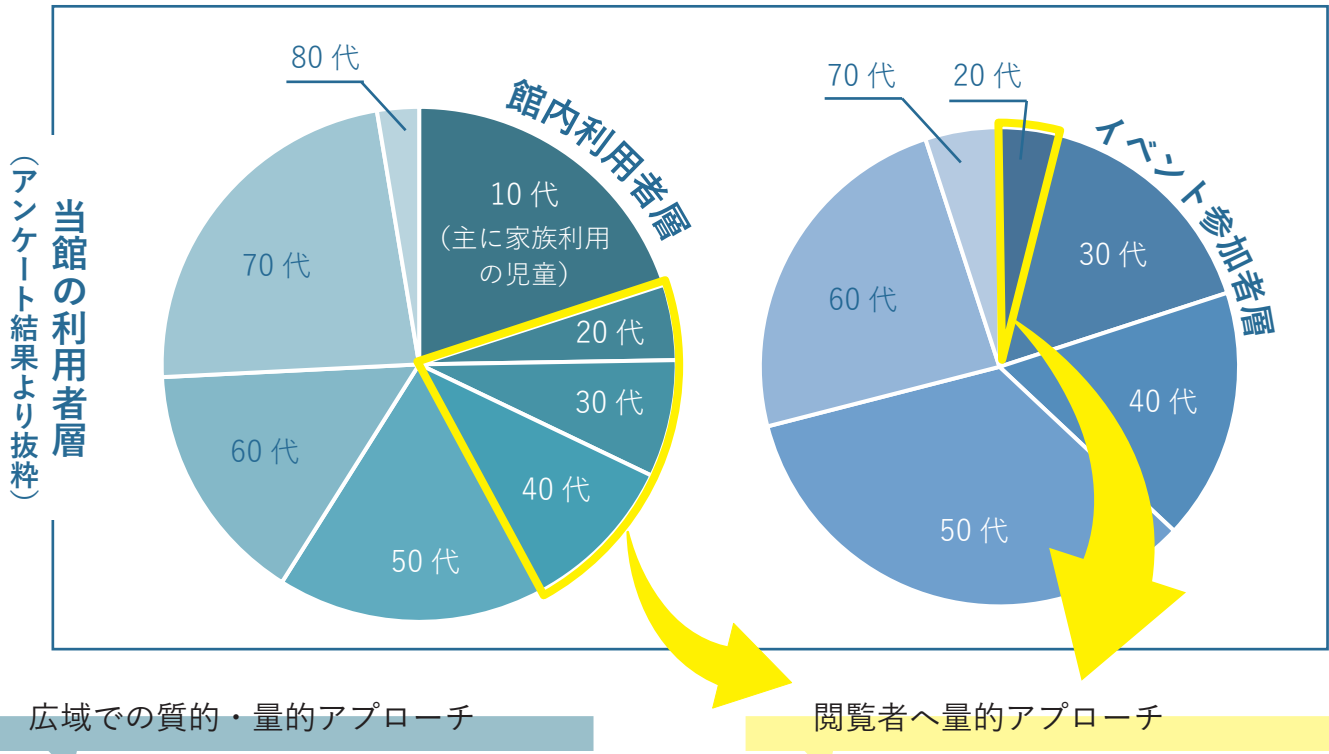


リーフレット「みたけ彩」

2- (4)

施設の広報に関する取組

弊社は、紙媒体はもちろん時勢に合わせ IT を活用した広報にも注力し、常時旬な情報を媒体によって閲覧者に合わせた表現で扱います。その他、長年の経験で築上げた関係機関の協力も得て、様々なアプローチで質的・量的な広報を展開し、幅広い利用促進を図ります。



広域での質的・量的アプローチ

閲覧者へ量的アプローチ

地域連携による広域的な広報

- ・多摩エリアのホームページや SNS の活用
- ・御岳山野外掲示板／ふれあいセンター館内
- ・関連施設ウェブ媒体、屋外掲示板
- ・出張ビジターセンター
- ・地元小学校 など

IT を活用し若年層へのアプローチを強化した広報

- ・ホームページ
- ・Facebook
- ・Twitter
- ・Instagram
- ・DM
- ・他情報メディア



読者へ質的なアプローチ

紙媒体を活用した広報

- ・パンフレット
- ・刊行物 (年 2 回刊行)
- ・リーフレット
- ・セルフガイド
- ・市内広報誌 など



刊行物《木もれび》



セルフプログラム《みたけ発見ビンゴ》

地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組

弊社は、地域振興を図りながら外部へと魅力を発信できる地域密着型施設を目指し、5年間で自然のみならず御岳山・集落の歴史文化も含めた地域の魅力を最大限に利用者へ伝える且つフィールドを安全に利用してもらうため、次のように展開します。

旅行業を活用した滞在型ツアー

- ・滞在型イベントの企画、実施
- ・宿泊選択式イベントの企画（コロナ禍への対応）

武蔵御嶽神社

- ・神事や宝物などの”価値ある資源”の普及
- ・裏式年大祭関連催事協力
- ・神楽ツアーの企画

御岳山観光協会

- ・宿泊者向けガイドウォークの実施
- ・食文化（郷土料理）の魅力発信
- ・地元催事レンジショウマ祭り連携

御岳登山鉄道

- ・共催ツアーの開催
- ・ウィークリーイベントへの協力

地域資源を 活用した連携

地域アクティビティ会社

- ・カヌー、カヤック体験の提供

自然公園他 4 施設

- ・Feel Nature in Tokyo! ツアー
- ・施設周回企画
- ・合同調査や情報交換会
- ・共催イベントの企画
- ・複合商業施設への出張ビジターセンター

国立科学博物館標本資料センター

- ・GBIF への標本情報提供

2- (6)

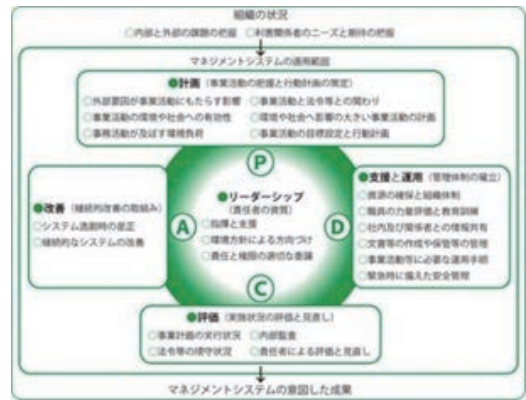
業務効率化への取組

管理運営業務の効率化のための業務上の工夫

弊社では、独自のCES マネジメントシステムを活用することにより、業務の確実性・効率性を図り、第三者外部審査機関からのISO14001 認証取得を継続しています。

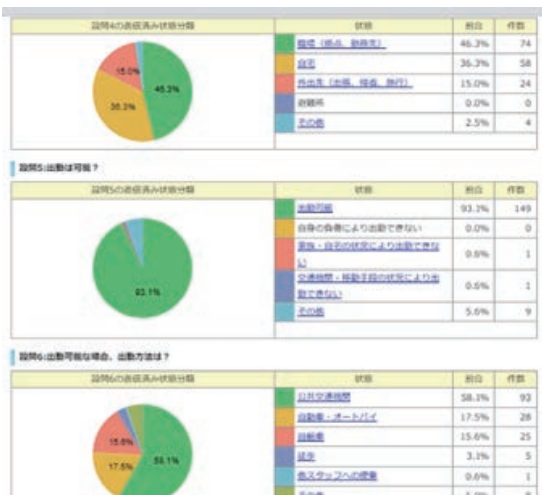
CES マネジメントシステム運用により 質の高いサービスを継続的に展開

- ①法令遵守による高い信頼性を伴う事業展開
- ②PDCA サイクルによる安定的な管理運営
- ③定期的な効果測定による評価・課題抽出
- ④具体的な改善計画実現による発展的展開
- ⑤環境側面抽出による環境負荷軽減
- ⑥業務の安定性・確実性に基づく効率化の実現



BCP 事業継続計画に基づく 安否確認システム

弊社では、BCP 事業継続計画の一環として、関東・甲信越地方で震度5強以上の地震が発生した場合に全スタッフに自動送信される安否確認システムを全社的に構築済みです。スタッフから返信された被災状況がリアルタイムで確認可能であり、災害発生時の管理運営業務における迅速な対応が可能となります。



地域限定旅行業取得による 業務の効率化

宿泊先や宿泊費の支払いを弊社が担うことで、参加者の利便性向上と体験プログラムの充実を図り、業務の効率化及び法令順守へと繋がります。また自然公園エリアマネジメントにおける連携イベントの開催により、人員配置の最適化を実現します。



運営業務計画書 (年間予定)

弊社が提案する東京都御岳ビジターセンター外3施設における運営業務計画書は次の通りです。

東京都御岳ビジターセンターにおける運営業務計画書 《様式8-2》

(令和5～9年度共通)

項目	実施場所/業務内容等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
国立公園を利用するすべての人々への適切な情報提供	御岳山全域、ビジターセンターなど	利用案内、プログラム提供、情報収集(自然・登山道等)、施設管理											休館日以外、毎日実施	
	主にビジターセンター	ニーズ把握、苦情対応など											アンケート、ヒアリング調査	ニーズ・要望随時受付
	主にビジターセンター	登山情報発信											登山情報発信 展示、HPによるリアルタイム情報発信	休館日以外、随時
	御岳山全域、ビジターセンターなど	来訪者傾向の把握											情報収集・発信	休館日以外、随時
	主にビジターセンター	国立公園利用普及啓発											国立公園利用普及啓発	休館日以外、随時
	主にビジターセンター	安全登山イベント											安全登山普及イベント	東京都レンジャー連携
	主にビジターセンター	オリジナル商品の開発・販売											ニーズ把握、企画制作、販売	パンフレット、リーフレット、等
東京都の自然公園エリアマネジメントの取り組み	ビジターセンターなどエリアマネジメント	御岳山における包括的な環境教育プログラムの展開											休館日以外、毎日実施	
	ビジターセンターなどエリアマネジメント	ビジターセンター内情報共有、自然公園他拠点間情報共有											情報共有、スタッフ・ミーティング	休館日以外、随時
	ビジターセンターなどエリアマネジメント	マネジメントシステム運用											ISO14001マネジメントシステム、外部コミュニケーション、内部コミュニケーション	休館日以外、随時
	ビジターセンターなどエリアマネジメント	環境マネジメント ISO14001											内部監査 外部審査 法令遵守 環境マネジメントシステム運用 教育訓練	休館日以外、随時
生物多様性保全拠点としての展開	御岳山全域、ビジターセンターなど	利用指導、盗掘防止											利用指導、盗掘防止	休館日以外、随時
	御岳山全域、ビジターセンターなど	ニホンジカの食害防除											野外展示・館内展示による普及啓発	休館日以外、随時
	御岳山全域、ビジターセンターなど	レンゲショウマ保護活動											野外解説による啓発活動	夏シーズン野外解説
	御岳山全域、ビジターセンターなど	希少種保全、生物多様性調査											研究者等との情報共有	休館日以外、随時
	御岳山全域、ビジターセンターなど	モニタリング調査											巡回調査、情報収集と発信	休館日以外、随時
地域に根差した取り組み	主に御岳山全域、ビジターセンターなど	地域連携プログラム											宿泊者向けツアー(夜間・早期を含むプログラム)	年5回以上
	御岳山全域、ビジターセンターなど	地域連携シミュレーション											地域関係機関との防災訓練 年2回	地元消防訓練への参加

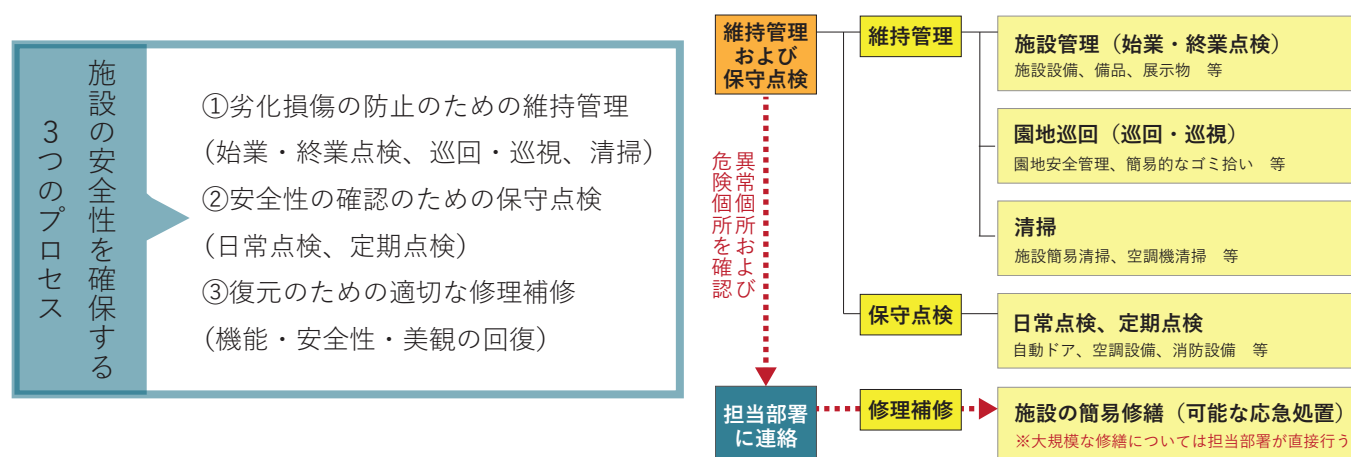
3- (1)

適切な維持管理を行うための取組

弊社は、施設の日常管理を重視し、計画的かつ効率的・効果的に機能診断を行い、安全に管理を行います。効率面にとどまらず、安全面・衛生面・機能面確保のためにも重要な考え方であるプリメンテナンスの取組みを徹底します。

施設の安全性を確保する3つのプロセスと自動ドア保守点検実施

施設の安全性を確保するために、3つのプロセスを重視します。また、現状は専門業者による自動ドア保守点検が行われていないようですが、安全性面から年3回保守点検を実施します。



安全管理の基本となるプリメンテナンスの重要性

弊社では、一般的に施設は時間の経過とともに老朽化が進み、機能低下が起こりうることについて、スタッフ間の共通理解とし、利用者からの意見や感想などの情報を受け止める姿勢が必要であると考えています。さらに、施設の日常管理を重視し、計画的かつ効率的・効果的に機能診断をすることで安全に管理を行います。効率面にとどまらず、安全面・衛生面・機能面確保のためにも重要な考え方であるプリメンテナンスの取組みを徹底します。弊社は、プリメンテナンスを徹底することにより、事故発生リスクの低減に結びつくと考えます。

3つのアプローチ

- 劣化損傷発生 の想定によるアプローチ
 - ・施設における劣化の必然性の認識、劣化損傷 (軽微及び重大) の発生内容の想定
 - ・リスクの把握と対策の徹底、対応するための内部における教育訓練計画の策定
 - ・計画に基づいた定期的な教育訓練の実施
- 日常管理のマニュアル化によるアプローチ
 - ・日常管理のマニュアル化・記録による作業の一元化、作業の効率化、基準の統一化
 - ・緊急時における対応の体制づくり・マニュアル化、定期的なマニュアル修正
- 日常的な清掃・維持管理の徹底によるアプローチ
 - ・全スタッフによる積極的な日常清掃・日常点検、劣化損傷の早期発見・早期対応
 - ・日常的に維持管理、施設点検を実践する姿勢の徹底

事故、自然災害に対する安全対策及び発生時の対応

弊社は、日々の施設内及びフィールド等におけるリスクはもちろん、イベント実施時や災害時においても事前にリスクを抽出し対策を講じてリスクの低減を図るとともに、事故等発生時に備えた対策とプロセスで以下のように対応します。

御岳ビジターセンターで起こりうるリスク

施設	サービス・窓口	園地・フィールド	利用者	プログラム	ボランティア
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化 ・火災 ・破損等不具合 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報漏洩 ・風評被害 ・クレーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・倒木、枯損 ・危険生物 ・滑落・天災 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識不足 ・体調不良 ・傷病 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、怪我 ・参加者の問題行為 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地情報不足 ・コーディネーター不足

発生前の対応

リスクの低減

- ・全スタッフの救命救急講習の受講
- ・管理体制の確認、緊急時対応マニュアル、注意報警報気象情報発令時の連絡・対応等の体制徹底
- ・登山道の危険箇所の適宜調査及び関係機関への周知や処理対応
- ・ITを活用した迅速な情報周知



発生後の対応



- ・災害後は、危険箇所の安全確認を行い、関係機関と協議の上、供用を再開。
- ・ITを活用した迅速な情報周知（地震、台風、積雪の注意喚起や事後の影響など）
- ・地元消防団、地元住民との情報共有
- ・都レンジャー、警察、消防との迅速な情報共有、安全な利用への呼びかけ（窓口対応、掲示物、現場応急処置など）



御岳ビジターセンター
災害対策マニュアル

株式会社 自然教育研究センター
令和4年4月1日改訂

3- (3)

稀少動植物保全への取組

都心からも近い御岳山では近年の登山・アウトドアブームにより国立公園だと知らずに来訪される方が増えてきていますが、その一方で動植物の姿が消えつつあるものも存在します。要因は様々で野生動物による食害に限らず、人間による希少種の盗掘や故意ではない植物の踏み付けも目立ちます。これらの保護対策として、調査による現状把握と利用者への周知を行うとともに、地域住民及び地域関係機関（都レンジャーなど）とも情報共有し打開策の検討を密に行います。

レンゲショウマの調査及び保全

御岳山の観光資源の一つであり、東京都で絶滅危惧IB類(EN)に指定される「レンゲショウマ」の生育状況及び野生動物による食害状況を把握することを目的とする。

- ・山内3つのエリアでの定期的な調査
- ・地域と協力した防獣柵による保護



ニホンジカによる食痕
〈レンゲショウマ〉



ニホンジカによる食痕
〈カタクリ〉

カタクリの生育状況調査

東京都で絶滅危惧II類(VU)に指定される「カタクリ」は富士峰園地にある群生地(防獣柵内)以外にも生育個所が多いがニホンジカによる食害の影響を受けているため、生育状況の傾向把握を目的とする。

- ・山内主要2つのエリアにおける景観調査

他観光資源の調査及び保全

ここ数年観光資源である「イワウチワ」などの人由来の踏圧、盗掘によって減少傾向にある種の調査と地域関係者と協力した保護活動の実施を目的とする。



イワウチワ



タマガワホトトギス

山内の植生調査及び保全

主要コースにおける植生が食害により大きく変化してきており、利用者からの悲しみの声も増えている。今後の打開策検討のため定期的な調査を実施する。

- ・植生及び景観の変遷を把握する調査

管理業務計画

弊社が提案する、御岳ビジターセンター外3施設における管理業務計画は次の通りです。

管理業務計画 《様式 8-3》

(令和5～9年度共通)

項目	実施場所/業務内容等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
御岳ビジターセンター	ビジターセンター	←												休館日以外、毎日実施
	建物	←												休館日以外、毎日実施
	空調設備			← 保守点検 →					← 保守点検 →					年2回 実施
	消防設備		← 機器点検 →						← 総合点検 →					
	浄化槽	←	← 巡回検査 →			← 巡回検査 →			← 巡回検査 →			← 巡回検査 →		巡回検査 年4回 清掃 年1回 水質検査 年1回 汲み取り 年1回
	建物	←	← 保守点検 →			← 保守点検 →			← 保守点検 →			← 保守点検 →		年4回実施
	自動ドア	←	← 保守点検 →				← 保守点検 →				← 保守点検 →			年3回実施
御岳平園地	トイレ	←				← 日常清掃、施設点検 →								年間120回程度
	園地管理	←				← 日常清掃、園路除草、施設 →								年間100回程度
富士峰園地	園地管理	←												年間25回程度
	防鹿柵エリア管理	←											← 期間中1日 →	週2～3日程度担当
円塚山園地	園地管理	←				← 日常清掃、園路除草、施設 →								年間50回程度

自主事業への取組

弊社は、新たな利用者サービスの取組として自然環境の適切な利用促進及び環境保全や安全登山の普及啓発を目的としたグッズ等の販売や地域観光に寄与することを目的とした滞在型イベントを実施します。

令和5年度実施予定の 公募型イベント

地域旅行業なども活用し、御岳山観光協会などと連携した多種多様な公募イベントを実施します。



4月
御師料理とハイキング



10月
青梅の歴史探訪



12月
ムササビ観察会

自然公園エリアマネジメント Feel Nature in Tokyo! ツアー開催

東京の自然公園エリアマネジメントの一環として秋川丘陵自然公園指定70周年記念事業連携した地域探訪ツアーなどを各施設で実施します。

CES 主催	実施	内容	奥多摩 VC 共催
八王子支店	5月	高尾山薬王院 御護摩祈祷・精進料理	6月 ぼちぼちツアー
青梅支店	9月	奥多摩伝統芸能 獅子舞、鹿島踊	
青梅支店	11月	武蔵御岳神社 夜神楽	
青梅支店	1月	武蔵五日市 七福神めぐり	

ネイチャージュズ等の物販

弊社では、地域資源を活用し環境教育を目的としたネイチャージュズの販売や安全登山の普及を目的とした飲食物の販売を行います。



環境教育を目的としたグッズ



木の実のクラフト



飲料物・軽食

Ⅲ 支出計画等

1 支出計画

単位：千円

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
支出	29,637	29,637	29,637	29,637	29,637	148,183

2 物販収支計画

単位：千円

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
収入	583	583	583	583	583	2,915
支出	347	347	347	347	347	1,737
収支	236	236	236	236	236	1,177

※端数処理を四捨五入により行っていることから、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。